



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センター

2016年8月9日

国連世界観光機関 (UNWTO)

世界観光指標 (World Tourism Barometer)

本報道発表の原文 (英語) は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文 (英語) は、UNWTO 本部での準備完了次第、

下記リンクにて抄録 (無償) 及び全文 (有償) をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No. 16055

マドリッド

2016年7月19日

2016年1～4月の国際観光はUNWTO年間予測平均率を上回る勢いで成長が継続

2016年の国際観光は好調にスタートした。最近のUNWTO世界観光指標によれば2016年1～4月までの国際観光客到着数は5%増となった。ほぼすべての準地域及び多くのディスティネーションにおいて二桁成長の報告がなされて堅調な結果となった。5～8月は北半球における夏休みのピークシーズンとなるので約5億人の観光客が海外旅行をすることが見込まれ、依然として順調である。

2016年1～4月の世界のディスティネーションに、前年同期と比べて約1,800万人(5.3%増)多い3億4,800万人の国際観光客(1泊以上の訪問客)が訪れた。2016年の国際観光客到着数は、2015年の4.6%増に次いで、2009年の危機以降7年連続で4%増またはそれ以上と見込まれる。

UNWTO タレブ・リファイ事務局長は「ディスティネーションは問題をかかえながらも結果的には旅行したいという意欲の示すとおり、それが観光の成長を牽引し続けている。観光はダイナミックで弾力性のある経済部門であることを示し、世界の全ての地域が堅調な需要の恩恵を受け続けている」と述べた。

「しかし、これらの好調な実績にも関わらず、最近の悲劇的な出来事は全ての人々にとって安全及び安心が主要な課題のままであることを思い出させてくれる。私たちはこの世界的な脅威に対ししっかりと協力し続けなければならない。そして緊急計画のなかには観光は含まれるべきものであり、世界的、地域的、国家レベルで対応していかなければならない。」と付け加えた。

地域別の国際観光客到着数ではアジア・太平洋(9%増)が最も多く増加し、その準地域全てが7%増又はそれ以上の増加で高い成長となった。準地域別ではサハラ以南地域(13%増)が前年の緩やかな成長からの力強い立ち直りをリードした。

国際観光客到着数のUNWTO予測では、2016年通年では3.5～4.5%の増加と見込んでおり、これはUNWTOの長期予測における2010～2020年の10年間の平均伸び率3.8%に沿った増加と言える。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific

Silkia Nara 2F, 8-1, Sanjo-honmachi, Nara 630-8122 Japan
TEL +81(742)30-3880 FAX +81(742)30-3883

地域別実績

【アジア・太平洋】

2016年1～4月の世界全地域の国際観光客到着数では、アジア・太平洋(9%増)の4つの準地域が伸びを牽引し、全世界で最も高い成長を記録した地域となった。東南アジア及びオセアニアは共に10%成長を遂げ、一方、北東アジアは8%増、南アジアは7%増の到着数を達した。

【アフリカ】

アフリカ(7%増)においてはサハラ以南地域(13%増)の国際観光客到着数は確実に立ち直ったが、一方で北アフリカは8%減となった。

【米州】

2016年1～4月の米州(6%増)の4準地域すべてが、中央アメリカ及び南アメリカ(共に7%増)に牽引され大きく成長し続けている。カリブ海(6%増)及び北アメリカ(5%増)は、5月までに観光支出が9%増加している米国からの継続的な強い送客市場の需要によって牽引されている。

【ヨーロッパ】

世界で最も訪問者の多い地域であるヨーロッパ(4%増)は、北ヨーロッパ及び中央・東ヨーロッパ(共に6%増)を筆頭にここ数年の堅調な成長を確かなものにし、これに南・地中海ヨーロッパ(4%増)及び西ヨーロッパ(3%増)が続いた。

入手可能な情報によれば、中東への国際観光客到着数は4月までに7%減少したと推定される。

アフリカ及び中東の実績は、現在入手可能な限られたデータを元に行っているため、注意が必要である。

見通しも堅調

UNWTOは、2016年5～8月の北半球の夏休みであるピークシーズンにかけて、年間の国際観光客数全体の41%を占める約5億人が海外に向けて旅行すると予測している。

UNWTO信頼指数(Confidence Index)によれば、2016年5～8月にかけての見込みは堅調であり、1～4月の実績の同じレベルであると予測する。同指数はヨーロッパが最も高く、その次に米州が続いている。

プラスの要因としてブラジルが8月に2016年リオデジャネイロ夏季オリンピックを控えている。マイナスな要因では大きな課題である安全上の懸念がある。さらに、英国のEC離脱に関する国民投票の結果は市場における不確実性を高め、英国ポンドの大幅な下落を引き起こした。しかし、UNWTOはこのことは短期的なもので海外旅行に大きな影響を与えるとは予測していない。

注釈：データは暫定であり、改定されることがあります。

関連リンク：

UNWTO 世界観光指標 (ダウンロードはこちらから)

<http://mkt.unwto.org/barometer>

2015年国際観光 インフォグラフィック

<http://media.unwto.org/content/infographics>

「UNWTO 世界観光指標」抄録 (無償)

<http://mkt.unwto.org/barometer>

UNWTO ツーリズムハイライト 2016 年をリリースしました。

過去1年間の観光データを基に、国際観光の概要を紹介する冊子「ツーリズム・ハイライト(2015年)」を発表しました。今号は、2016年7月までの各国各地域及び国際機関からの報告内容を反映したもので、2015年の国際観光に関する主な動向及び予測は以下のとおりです。

ツーリズムハイライト(2015年)の主な内容は以下の通り

- ・国際観光における年間の主な動向・国際観光客到着数(実績)
- ・国際観光収入(実績) ・旅行目的地世界上位国・国際観光収入上位国(10位)
- ・地域別実績と主な要因(ヨーロッパ、アジア・太平洋、米州、アフリカ、中東)
- ・「Tourism Towards 2030」における長期的な見通し

ダウンロードはこちらから(無償)

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights-2016-edition>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標(「バロメーター」)は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年6回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当: 藤永、吉田

電話: 0742-30-3880 Fax: 0742-30-3883

E-mail: info@unwto-aptec.org

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

E-mail: media1@unwto.org

※本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法に関するお問合せは、
UNWTO アジア太平洋センターにお問合せください。